

(別紙3)

○事業所名	地域生活支援センターかのん(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 9月 23日 ~ 2026年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 9月 23日 ~ 2026年 9月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 10月 10日		

○ 分析結果（保護者評価10件・従業者評価8件を踏まえて整理）

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性やペースを大切にした個性のある支援が保護者から評価されている。活動内容に応じた部屋の使い分けや、こどもに合わせて活動場所を工夫している点も強みである。	こどもの状態や興味を踏まえて活動場所・内容を調整し、安心して参加できる環境づくりを行っている。	こどもの様子や支援のねらいを職員間で共有し、個々に合った環境設定や支援を継続する。
2	こどものペースを尊重した支援や、さまざまな体験の機会が保護者から肯定的に受け止められている。通所を楽しみにしているという意見もあり、安心して参加できる関係づくりが強みである。	個別活動と集団活動を組み合わせ、こどもの興味・発達段階に応じて活動を工夫している。	感覚遊び等の保護者の希望も参考にしながら、活動内容の幅を広げ、こどもが楽しんで参加できる機会を増やす。
3	保護者会や親子参加イベントが保護者同士の交流の場になっているとの意見があり、職員の関わりやこどもに合わせた支援についても肯定的な評価がみられる。	日々の送迎時や連絡帳、面談等を通じて、こどもの様子や支援内容を保護者と共有している。	写真等も活用しながら活動の様子や成長を伝え、家庭と事業所がこどもの変化を共有できるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員評価では、職員配置、環境整備、支援終了後の振り返り、関係機関との連携等について、確認や改善が必要とする回答がみられた。保護者からは感覚遊び等の活動への希望や、写真で活動の様子を共有してほしいという意見があった。	利用状況や活動内容によって、職員の役割分担や振り返りの時間を確保しにくい場合がある。また、活動内容や支援の様子が保護者に十分伝わっていないことがある。	利用状況に応じた配置と役割分担を確認し、支援開始前後の打合せを継続する。個人情報に配慮しながら、写真や連絡帳等を用いて活動の様子を伝える方法を検討する。
2	地域の児童発達支援センターとの連携、地域交流、家族支援プログラム等について、職員評価で改善や共通理解が必要とする回答がみられた。保護者評価でも、地域交流や家族支援について「わからない」とする回答が一部みられた。	連携や家族支援の実施状況・役割が職員全体に十分共有されていない場合や、実施内容が保護者に伝わりにくい場合がある。	関係機関との連携状況を確認し、必要に応じて助言・研修を受ける機会を検討する。家族支援や地域交流について、実施内容と情報提供の方法を整理し、職員・保護者に分かりやすく伝える。
3	安全計画や非常時の訓練・対応について、保護者評価で「わからない」とする回答がみられた。職員評価では、食物アレルギーに関する医師の指示書の確認や安全計画の周知について、確認を深める必要がある回答がみられた。	安全に関する取組や具体的な手順が、職員・保護者双方に十分伝わっていない場合がある。	マニュアル、避難訓練、安全計画、服薬・アレルギー情報等を定期的に確認し、必要な内容を職員間で共有する。保護者にも実施内容を分かりやすく周知する。